

令和六年度学力検査問題

国語 ② (教育学部・医学部看護学科)前期日程

(問題紙 一〇十八ページ 別紙解答用紙枚数 一枚)

解答時間 一〇〇分

注意事項

- 一、試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 二、本冊子のページ数は右に示したとおりである。落丁、乱丁、印刷不鮮明の箇所などがある場合は申し出ること。
- 三、解答はすべて別紙解答用紙のそれぞれの解答欄に記入すること。
- 四、解答用紙の指定された欄(二箇所)に、忘れずに本学の受験番号を記入すること。
- 五、試験場内で配付された問題冊子は試験終了後持ち帰ること。

一

次の文章は、探険家である筆者が娘を観察して書いたものである。これを読んで、後の設問に答えなさい。（\*は本文の後に注があることを示す。）

著作権の関係上公表しない

著作権の関係上公表しない

著作権の關係上公表しない

著作権の関係上公表しない

著作権の関係上公表しない

(角幡唯介『探検家とペネロペちゃん』より。出題に際し原文の一部を省略した。)

〔注〕 \*ペネロペ 筆者が付けた、自分の娘のあだ名。

\*E T 地球に取り残された異星人と地球人の少年の心の交流を描いた一九八二年製作のアメリカのSF映画。

\*福音書 新約聖書の中で、イエスキリストの生涯と言行を記したもの。マルコ、マタイ、ルカ、ヨハネの四書がある。

\*リゾーム状 相互に関係のない異質なものが、階層的な上下関係ではなく、横断的な横の関係で結びつくさま。

問一

A

ゝ

F

に当てはまる最も適当な語句を、次の選択肢の中から一つ選んで、その記号を記しなさい。

ア がらりと

イ ぐにやりと

ウ じわじわと

エ バシバシと

オ ばらばらに

カ フラットに

問二

傍線部①に「動物を見ても全然面白そうにしていなかった」とあるが、それはなぜか。五〇字以内で述べなさい。

問三

傍線部②「存在化する」と同様の意味で用いられている表現を、本文中から五字で二つ抜き出しなさい。

問四

傍線部③に「古代人になる」とあるが、それはどういうことか。「太陽」という言葉を用いて五〇字以内で述べなさい。

問五

筆者の求める「探検」とはどのようなものか。3ページの「中略」以後の趣旨を踏まえて、八〇字以内で説明しなさい。

二

次の文章は、大江健三郎の小説『無垢の歌、経験の歌』の一部である。仕事で外国へ旅行していた「僕」は、帰国後、迎えに来た妻と次男の異変に気づく。帰りの車中で二人ともぐったりしており、口を開こうとしない。ようやく口を開いた妻の話によると、知的障害のある長男のイーヨーが、父親が不在の間に家族に乱暴し、庖丁ほうちようを持ち出すこともあったという。以下はその続きの場面である。この文章を読んで、後の設問に答えなさい。（\*は本文の後に注があることを示す。）

著作権の関係上公表しない

著作権の關係上公表しない

著作権の関係上公表しない

著作権の關係上公表しない

著作権の関係上公表しない

(大江健三郎『無垢の歌、経験の歌』より)

[注]

- \*春場所||毎年三月に大阪で行われる大相撲興行。
- \*星取表||相撲の勝敗の結果を○●などの記号で記した一覧表。
- \*アンビヴァレント||相反するものが同時に存在するさま。
- \*朝夕||四代目朝潮太郎(一九五五—二〇三三)。高知県出身の大相撲力士で、一九八〇年代に人気を博した。
- \*笏||宮中で礼装を着るときに手に持つ細長い板。
- \*ブルックナー||ヨーゼフ・アントン・ブルックナー(一八二四—一八九六)。オーストリアの作曲家で、交響曲やミサ曲などを作曲した。
- \*砧ファミリー・パークで倒されて傷ついた後頭部||砧ファミリー・パークでイーヨーが通う養護学校(現・特別支援学校)の春休みのお別れ会が開催され、鬼ごっこでイーヨーは母親を柔道の足払いで倒す事故を起こしていた。
- \*バツハのシチリアーナ||ヨハン・セバスチャン・バツハ(二六八五—一七五〇)は、ドイツの作曲家およびオルガン奏者。シチリアーナは、十八世紀ヨーロッパで流行した八分の六拍子もしくは八分の十二拍子の舞曲。
- \*調性||音楽において、主音・主和音に基づいて音程関係が成り立っている場合の、その音の組織・秩序のこと。

問一

a

ゝ

e

のカタカナを漢字に改め、楷書<sup>かいしよ</sup>で丁寧に書きなさい。

問二

X

に当てはまる最も適切な文を、次の選択肢の中から一つ選んで、その記号を記しなさい。

ア 犬が人間のいない場所で笑いに笑い、そのあげく充血した

イ 狐<sup>きつね</sup>が人間をだますことで得意になり、意地悪く相手を見くだした

ウ 猿が人間と偶然にも遭遇し、視線が一点に定まらず動揺した

エ 狸<sup>たぬき</sup>が人間に捕まってしまい、観念してどうしようもなくなった

問三 本文より前の範囲で、イギリスの詩人ウィリアム・ブレイクの詩が、「僕」(父親)が不在時のイーヨー(長男)の心情の変化を予兆する伏線として引用されている。このことについて、後の(一)・(二)に答えなさい。

(一) 引用されたと推定できるウィリアム・ブレイクの詩を、次の選択肢の中から一つ選んで、その記号を記しなさい。なお、選択肢の文体を揃えるために、実際の本文とは異なる翻訳(池澤春菜訳『無垢の歌』)を用いている。

ア 「お父さん、お父さんどこに行っちゃったの？ そんなに早くあるかないですよ。ねえ、何か喋って、ぼくに何か言ってよ。じゃないとぼく、迷子になっちゃうよ」 / 夜は真つ暗、お父さんはいない。小さな子供は夜露で濡れ、泥沼は深く、子供は涙目。夜露はあたりに立ちこめる。

イ 羊飼いは、楽しい仕事。夜明けから夕暮れまで、日がな一日。羊を追ってあるきまわる。口はすてきな言葉でいっぱい。 / 子羊たちの無邪気な歌声。お母さん羊の優しいおこたえ。だって羊飼いがいつもそばで。優しく見守っているんだもの。

ウ ようきなようきな、すずめさん。緑の葉っぱの蔭から。幸せなお花が見ているよ。おまえがまるで矢のように。小さなおうちを探しているのを。おいで、私の胸のすぐ近く。 / 可愛い可愛い、こまどりさん。緑の葉っぱの蔭から。幸せなお花が開いているよ。おまえがしくしく泣く声を。可愛い可愛い、こまどりさん。おいで、私の胸のすぐ近く。

(二) 選んだ詩が伏線といえる根拠を、詩の中の言葉を引用しながら五〇字以内で説明しなさい。なお、引用に際してはカギ括弧を用いなくてもよい。

問四 傍線部に「息子の言葉は、奇態なものにちがいはないが、それなりの脈絡をそなえていた」とあるが、なぜ「それなりの脈絡をそなえていた」と言えるのか。五〇字以内で述べなさい。

問五 本文では、イーヨー（長男）と「僕」（父親）との関係性の変化が、ハーモニカの音によって比喩的に表現されているが、それはどのように表現されているか。七〇字以内で説明しなさい。

三

次の文章は、中国の説話を集めた『唐物語』の一話である。これを読んで、後の設問に答えなさい。（\*は本文の後に注があることを示す。）

著作権の関係上公表しない

『唐物語』より

〔注〕 \*朱買臣〓漢の時代の官僚。

\*会稽〓郡の名。今の江蘇省蘇州市のあたり。

\*こしらへけれど〓説得したけれど

\*初めて〓国守となって以後では初めて。

\*筐〓四角い箱。

\*とも〓ここでは、妻のこと。

\*僻目〓見間違ひ

問一 二重傍線部 a の「し」と文法的に同じものを、二重傍線部 b、f の中からすべて選んで、記号で答えなさい。

問二 傍線部 ①・②・③を現代語訳しなさい。

問三 波線部に「いかが思ひけん」とあるが、この時の女の思いはどのようなものだったと考えられるか、四〇字以内で答えなさい。

問四



に入れるのに最も適当な言葉を、次の選択肢から一つ選んで、記号で答えなさい。

ア 旧居

イ 故郷

ウ 世間

エ 朝廷

オ 任地

四

次の文章を読んで、後の設問に答えなさい。（\*は本文の後に注があることを示す。また、設問の都合で、本文の一部を省略し、送り仮名を省いたところがある。）

著作権の関係上公表しない

（洪亮吉「生死篇」より）

〔注〕 \*重憂Ⅱひどい心配事。

\*知Ⅱ知覚

\*形質Ⅱ肉体

問一 二重傍線部 a・b の読みを、送り仮名も含めて答えなさい。(現代仮名遣いでよい。)

問二 傍線部①を現代語訳しなさい。

問三 傍線部②について、死者に知覚があるという前提に立った場合、どのようなことが可能になると考えられるか。本文の内容を参考に二〇字以内で説明しなさい。

問四 傍線部③について、筆者が死を快適なものと考えたのはなぜか。本文中に書かれた具体例を一つ示しつつ、二五字以内で説明しなさい。